

# 第5章

## 保健対策課



保健対策課は専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症対策、障害児（者）保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等の事業を担当した。

## 1 感染症予防対策

エイズ対策、結核対策及びそれ以外の麻しんやインフルエンザ等の感染症対策の3分野を実施している。

### (1) 感染症対策

感染症発生時には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、ホームページや広報などで市民や医療機関等に情報を発信し、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともに注意喚起を行った。

#### ア 感染症届出状況

法第12条に基づく八王子市内の医療機関からの平成27年度1類～5類全数届出件数は184件であった。

感染症発生件数（表1-1）

区分	疾病名	平成26年度	平成27年度
	総数	167	184
一類	エボラ出血熱	—	—
	クリミア・コンゴ出血熱	—	—
	痘そう（天然痘）	—	—
	南米出血熱	—	—
	ペスト	—	—
	マールブルグ病	—	—
	ラッサ熱	—	—
二类	急性灰白髄炎	—	—
	結核	112	108
	ジフテリア	—	—
	重症急性呼吸器症候群	—	—
	鳥インフルエンザ（H5N1）	—	—
三类	コレラ	—	—
	細菌性赤痢	1	—
	腸管出血性大腸菌感染症	21	22
	腸チフス	—	—
	バラチフス	1	—
四类	A型肝炎	2	1
	E型肝炎	1	—
	レジオネラ症	3	5
	デング熱	—	1
	つつが虫病	1	1
五類	アメーバ赤痢	8	6
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	4
	急性脳炎	—	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	—	1
	後天性免疫不全症候群	5	9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	—
	侵襲性髄膜炎菌感染症	—	—
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	11
	梅毒	5	10
	麻しん	5	1
	風しん	—	1

\* 但し、四類、五類については届出のあったもののみ

### イ 感染症の診査に関する協議会

法に基づき、入院の勧告、就業制限、結核患者等の医療費公費負担等について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議し、その意見を反映した。平成27年度は37回開催した。

#### 平成27年度 協議会開催状況（表1-2）

区 分	定例協議会	緊急協議会
開催回数	24回	13回

\* 定例協議会は原則第2、第4金曜日に開催

### ウ インフルエンザ様疾患集団発生報告

小中学校等のインフルエンザ様疾患による臨時休業の報告を受け状況を把握した。

#### インフルエンザ様疾患臨時休業状況（各月あたり延べ数）（表1-3）

年 度	区 分	総 数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
26	学校数	79	—	—	1	15	25	31	7	—	—	—
	学級数	131	—	—	1	25	47	44	14	—	—	—
27	学校数	79	—	—	1	0	18	51	23	4	1	—
	学級数	231	—	—	1	0	37	143	42	7	1	—

### エ 健康診断

感染症発生時に、法第17条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。  
（結核に関するものは別途記載）

#### 検便実施状況（表1-4）

区 分	検査件数	陽性者総数	内 訳
			腸管出血性 大腸菌感染症
総 数	82	13	10
病後経過者	23	9	6
患者関係者	59	4	4

### オ 積極的疫学調査

感染症発生時、積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検体検査（麻しん、ノロウイルス等）を行った。

#### 積極的疫学調査実施状況（表1-5）

区 分	麻しん	ノ ロ ウ イ ル ス	赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌	結 核	レ ジ オ ネ ラ	イ ン フ ル エ ン ザ	その他	計
高 齢 者 福 祉 施 設	—	—	—	—	5	—	1	2	8
障 害 者 福 祉 施 設	—	1	—	—	—	—	—	—	1
学 校	1	6	—	1	3	—	—	—	11
保 育 園 稚 園	—	4	—	1	—	—	—	—	5
病 院	—	1	—	—	8	—	—	1	10
そ の 他	—	—	—	—	2	—	—	1	3
小 計	1	12	0	2	18	0	1	4	38
個 人	6	—	—	21	1	4	1	4	37
合 計	7	12	0	23	19	4	2	8	75

## カ 健康教育

感染症の発生予防とまん延防止対策を普及啓発するため、健康教育を実施している。

(結核とH I Vに関するものは別途記載)

**感染症健康教育実施状況（表 1－6）**

実施日	テーマ	講師	対象者	参加者数
27年 4月 27日	N95 マスク フィットテスト	—	保健所・市職員	37
5月 27日	感染症の基礎知識（プール）	保健師	児童施設職員	66
6月 19日	施設における感染症対策について	保健師	学童保育所管理者	30
6月 19日	感染症の基礎知識	保健師	障害者施設管理者	68
7月 9日	感染症に関する最新情報	保健師	食品衛生実務者	392
7月 31日	感染症の基礎知識（プール）	保健師	学校給食従事者	178
9月 29日	感染症の予防について	保健師	美容所管理者	177
10月 19日	感染症の予防について	保健師	理容所管理者	126
10月 21日	感染症の予防について	保健師	旅館業衛生管理者	25
10月 26日	感染症の予防について	保健師	理美容所管理者	46
11月 11日	感染症について	保健師	食品衛生実務者	157
11月 13日	感染症の基礎知識	保健師	福祉施設職員	46
28年 2月 4日	医療機関と保健所の連携	医師・保健師	医療機関職員	107
2月 23日	個人防護服着脱訓練	—	保健所職員	9
3月 7日	レジオネラ症予防管理講習会	医師	入浴・プール施設職員	38

## キ 肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない 39 歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者（健康増進法による 40 歳以上の検診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。平成 26 年 10 月 20 日から肝炎精密検査費用助成が開始となり、陽性者にはそれらの案内も行い、早期に専門医療機関に繋がる重要性を周知した。また、ウイルス肝炎に関し健康不安を抱える市民などからの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

**ウイルス肝炎検査等実施状況（表 1－7）**

検査		陽性者 ※			陽性者への保健指導		
B型	C型	計	B型	C型	計	B型	C型
167	167	31	17	14	31	17	14

※健康増進法による検診対象者を含む

## ク 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である 11 医療機関（平成 23 年 1 月より 7 医療機関追加）に市独自の 3 医療機関を加えた市内の小児科 14 医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。また、感染症発生動向の情報提供及び感染症予防対策推進の検討を目的として、年に 1 回小児感染症サーベイランス検討会を開催している。

## (2) エイズ対策

H I V／エイズ予防のための知識の普及と感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及びH I V検査を行った。

H I V検査時、希望者には併せて、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症の性感染症の検査も実施した。

健康教育については若い世代への啓発活動として、大学生によるエイズ・ピア・エデュケーションを行った（若い世代から同世代へ感染予防の大切さと疾患に対する正しい知識を伝える）。また、地域での陽性者支援のネットワーク構築のため講演会を開催した。

エイズ相談・H I V抗体検査実施状況（表 1－8）

年度	相 談									H I V抗体検査		性感染症検査									
	総 数			電 話			来 所					梅毒血清検査			クラミジア検査			淋菌検査			
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
26	3,247	2,148	1,099	622	384	238	2,625	1,764	861	1,418 (495)	959	459	1,184	768	416	1,054	698	356	1,054	698	356
27	2,715	1,743	972	507	312	195	2,208	1,431	777	1,205 (415)	783	422	1,005	649	356	925	605	320	925	605	320

\*（ ）内は迅速検査実施分（再掲）

エイズ健康教育実施状況（表 1－9）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人員
27年4月 ～10月 (計8回)	エイズ・ピア・エデュケーター養成	保健師	大学生	17
27年 5月10日	学生天国	保健師、 ピアエデュケーター	学生・市民	42
5月17日	健康フェスタ	保健師、 ピアエデュケーター	市民	82
7月 2日	H I V／A I D Sについて	保健師、 ピアエデュケーター	学生	51
7月15日	H I V／A I D Sに関する正しい知識	保健師、 ピアエデュケーター	中学校	163
10月17日	H I V／A I D Sについて（大学祭）	保健師、 ピアエデュケーター	大学生・市民	162

### (3) 結核対策

結核の予防、早期発見、早期治療、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者の登録、入院の勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族・接触者に対する健康診断・保健指導を実施し、並びに医療費の公費負担事務を行った。患者支援として 地域DOTS（Directly Observed Treatment, Short-course:対面服薬指導）事業を行っている。

#### ア 結核登録者状況

新登録患者数（活動性分類、受療別）（表1-10）

（平成27年1月1日～12月31日）

区分	登録患者数								潜在性結核 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核								
		肺結核活動性						肺外結核活動性		
		総数	喀痰塗沫陽性			結核菌陽性 その他の	菌陰性・ その他			
総数	初回治療		再治療							
26年総数	83	68	35	33	2	30	3	15	29	
<b>27年総数</b>	<b>72</b>	<b>55</b>	<b>32</b>	<b>27</b>	<b>5</b>	<b>16</b>	<b>7</b>	<b>17</b>	<b>23</b>	
医療形態	入院中	35	33	29	24	5	3	1	2	-
	外来治療中	36	21	2	2	-	13	6	15	23
	治療なし	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-11）

（平成27年1月1日～12月31日）

区分	登録患者数								潜在性結核 (別掲)
	登録者総数	活動性結核							
		肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗沫陽性			結核菌陽性 その他の	菌陰性・ その他		
総数	初回治療		再治療						
26年総数	83	68	35	33	2	30	3	15	29
<b>27年総数</b>	<b>72</b>	<b>55</b>	<b>32</b>	<b>27</b>	<b>5</b>	<b>16</b>	<b>7</b>	<b>17</b>	<b>23</b>
～4	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	1
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15～19	2	2	1	1	-	1	-	-	1
20～29	10	10	4	2	2	3	3	-	-
30～39	6	3	2	2	-	1	-	3	3
40～49	5	5	2	2	-	1	2	-	5
50～59	2	2	1	1	-	1	-	-	3
60～69	6	6	2	2	-	3	1	-	5
70～	41	27	20	17	3	6	1	14	3

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表1-12）

（平成27年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核症 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明		
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性					
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性		菌陰性・その他				
		総数	初回治療	再治療								治療中	観察中
26年総数	211	70	58	24	22	2	29	5	12	133	8	19	96
<b>27年総数</b>	<b>205</b>	<b>54</b>	<b>42</b>	<b>21</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>140</b>	<b>11</b>	<b>14</b>	<b>91</b>
医療形態	入院中	12	12	10	7	6	1	2	1	2	-	-	-
	外来治療中	42	42	32	14	12	2	12	6	10	-	-	14
	治療なし	150	-	-	-	-	-	-	-	-	140	10	-
	不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-13）

（平成27年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明		
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性					
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性		菌陰性・その他				
		総数	初回治療	再治療									治療中
26年総数	211	70	58	24	22	2	29	5	12	133	8	19	96
<b>27年総数</b>	<b>205</b>	<b>54</b>	<b>42</b>	<b>21</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>140</b>	<b>11</b>	<b>14</b>	<b>91</b>
～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
15～19	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	11
20～29	29	5	5	-	-	-	3	2	-	20	4	1	14
30～39	20	5	3	2	2	-	1	-	2	13	2	2	12
40～49	28	3	3	-	-	-	2	1	0	22	3	2	14
50～59	18	4	3	2	2	-	1	-	1	13	1	2	14
60～69	26	7	6	2	2	-	2	2	1	18	1	2	12
70～	83	29	21	15	12	3	4	2	8	54	0	3	6

## イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表 1-14）

区 分	通院患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
26年度総数	147	144	3	91	91	-
<b>27年度総数</b>	<b>133</b>	<b>129</b>	<b>4</b>	<b>68</b>	<b>68</b>	-
初 回	93	91	2	26	26	-
継続再発	40	38	2	42	42	-

結核地域DOTS事業支援状況（表 1-15）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
26年度	67	15	124	206
<b>27年度</b>	<b>50</b>	<b>19</b>	<b>101</b>	<b>170</b>

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者・・・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・・・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・・・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

## ウ 結核検診

結核健康診断実施状況（表 1-16）

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

区 分	検 査 内 容							結核有所見	
	総数	ツベルクリン反応検査	QFT検査	間接撮影エックス線	直接撮影エックス線	喀痰検査	結核患者	要観察者	
26年度総数	1,952	18	549	-	1,385	-	30	4	
<b>27年度総数</b>	<b>2,219</b>	<b>5</b>	<b>472</b>	-	<b>1,745</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	
接 触 者 健 診	821	5	469	-	347	-	8	1	
患 者 家 族	118	3	59	-	56	-	6	1	
接 触 者	703	2	410	-	291	-	2	-	
管 理 検 診	112	-	3	-	112	1	-	-	
結核対策特別促進事業	627	-	-	-	627	-	-	-	
受 託 検 診	659	-	-	-	659	-	-	-	

**エ 結核健康教育（表 1-17）**

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人数
27年 6月 19日	結核の基礎知識	保健師	障害者施設管理者	68
6月 29日	結核・接触者健診について	保健師	施設職員	10
9月 28日	結核予防講習会	医師・保健師	高齢者施設職員	34
11月 13日	結核の基礎知識	保健師	福祉施設職員	46

## 2 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。

なお、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携をはかり、安心して暮らしやすい地域づくりを目指している。

### (1) 地域精神保健医療福祉推進会議及び実務者連絡会

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による意見交換の場として、「八王子市地域精神保健医療福祉推進会議」を設置している。平成27年度より、より幅広い意見を頂くために、新たな団体や家族会等に参加を依頼した。昨年度実施した、精神科病院調査の結果を共有しながら、地域の課題について意見交換を行った。

また、具体的な課題について検討するため、下部機関として、関係機関の実務担当者による「実務者連絡会」を設置している。平成27年度より、新たな団体や当事者にも参加を依頼した。

#### 地域精神保健医療福祉推進会議（表2-1）

開催日	内 容
27年11月16日	① 精神保健福祉法改正後の地域生活支援体制について 市内精神科病院における退院調整に関する調査報告 ② 次年度新規事業について

#### 地域精神保健医療福祉実務者連絡会（表2-2）

開催日	内 容
28年1月20日	① 精神保健福祉法改正後の地域生活支援体制について 市内精神科病院における退院調整に関する調査報告 ② 次年度新規事業について

## (2) 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談（月2回）、高齢者精神保健相談（隔月1回）、酒害相談（隔月1回）及び思春期相談（月1回）を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表2-3）

年 度	精神保健福祉相談							(再掲) 精神保健福祉訪問指導							
	実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				
				高 齢 者	酒 害	思 春 期	一 般 精 神 保 健				高 齢 者	酒 害	思 春 期	一 般 精 神 保 健	そ の 他
26	47	133	135	17	13	36	69	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>27</b>	<b>47</b>	<b>120</b>	<b>124</b>	<b>16</b>	<b>11</b>	<b>33</b>	<b>64</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	-	-	-	-

精神保健福祉延相談数（保健師による）（表2-4）

年 度	高齢者	社会復帰	依存症	児童・思春期	心の健康づくり	摂食障害	てんかん	一般精神
26	117	664	373	155	1,362	-	-	4,697
<b>27</b>	<b>233</b>	<b>494</b>	<b>560</b>	<b>179</b>	<b>1,478</b>	<b>747</b>	<b>304</b>	<b>4,560</b>
内 訳	家庭訪問	44	16	55	10	184	0	604
	面接相談	46	142	90	56	209	108	598
	電話相談	101	228	195	74	679	409	1,947
	文書等相談	0	15	25	24	72	27	145
	関係機関 連絡	42	93	195	15	334	203	1,266

## 未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し課題解決につなげている。

平成27年度は12回実施した。

### (3) 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健福祉指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため、入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、保護者の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。

当所に報告された管内の精神科病院（16か所）が扱った医療保護入院数は表のとおりである。

**医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表2-5）**

年 度	管内総計	症状性を含む器質性精神障害（F00～F09）			精神作用物質使用による精神及び行動の障害（F10～F19）				統合失調症・分裂型障害及び妄想性障害（F20～F29）	気分（感情）障害（F30～F39）	神経性障害・ストレス関連障害及び身体表現性障害（F40～F48）	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群（F50～F59）	成人の人格及び行動の障害（F60～F69）	知的障害（F70～F79）	心理的発達の障害（F80～F89）	小児（児童）期及び青年期に通常発生する行動及び情緒の障害（F90～F98）	詳細不明の精神障害（F99）
		小計	認知症	認知症以外	小計	アルコール使用（飲酒）による	覚せい剤（アンフェタミン）	その他の使用									
26	1,766	590	474	116	140	122	2	16	610	287	48	5	9	38	28	10	1
27	1,802	585	460	125	125	108	6	11	660	264	51	4	19	48	37	9	0

### (4) 警察官通報等による保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、最寄りの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

**精神保健法に基づく診察及び保護の申請または通報受理数（表2-6）**

年 度	管内総数	内 訳			
		第22条（一般人の申請）	第23条（警察官の通報）	第26条の2（精神病院管理者の届出）	第26条の3（心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報）
26	116	1	115	—	—
27	103	—	103	—	—

**(5) 精神障害者社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）**

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。

また、グループワークの他、個別相談会を年3回実施し、個別のアセスメントを行い目標の確認や卒業後の生活のイメージを持つなどステップアップを図った。

さらに、家族懇談会も年2回開催し、病気の理解を深めるとともに、家族にグループ活動を理解してもらった。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

**社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）実施状況（表2-7）**

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者（人）	延べ参加者（人）
26	38	13	220
<b>27</b>	<b>39</b>	<b>15</b>	<b>257</b>

**社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）参加者の動向（表2-8）**

年 度	区 分	総 数	就職(学)	家庭内適応	他部門	中 断	継 続	その他	男女計
26	男	7	-	-	1	-	6	-	13
	女	6	-	-	2	-	4	-	
27	男	<b>9</b>	-	<b>2</b>	<b>1</b>	-	<b>6</b>	-	<b>15</b>
	女	<b>6</b>	-	<b>1</b>	<b>1</b>	-	<b>4</b>	-	

**社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）事例検討会**

個別アセスメントグループのグループワーカー、保健師等で利用しているメンバーの事例検討会を平成27年度は2回実施した。

**(6) 思春期の課題を抱える家族グループ**

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的とする親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

**思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表2-9）**

年 度	実施回数	参加者数	
		実参加者(人)	延参加者(人)
26	13	23	193
<b>27</b>	<b>13</b>	<b>21</b>	<b>171</b>

**(7) 組織育成・普及啓発事業等**

**ア こころの健康づくり普及啓発講演会**

精神保健福祉に関する知識の普及を図り、地域住民のこころの健康の保持増進を目指すことを目的に年1回講演会を実施している。今年度は駒木野病院児童精神科診療部長、笠原麻里氏による「現代を生きる若者のメンタルヘルス～悩んでいるあなたへ、そして家族へ～」の講演会を実施し、123名が参加した。

## イ 講演会

地域住民や患者家族等を対象に、精神保健福祉に関するさまざまな問題について、講演会を実施し、精神保健福祉知識の普及・啓発を図ることを目的としている。

**精神保健福祉講演会等開催状況（表2-10）**

開催日	対象	テーマ	講師	参加人数
5月18日	市民、関係者	健康フェスタ ブースを設けて、メンタルヘルスについて啓発	保健対策課職員	1,115名
7月31日	さーくる南（家族会）	統合失調症と上手につきあうために	府中こころの診療所 春日雄一郎医師	46名
3月12日	わかくさ家族会 会員	精神保健福祉における保健所の役割	保健師	39名

### （8）精神保健福祉講座

市内の関係機関が精神障害者の理解を深め、相互の連携構築を目的に、毎年1回実施している。

### （9）うつ自殺対策

平成10年以降自殺者数は高い水準が続いている。背景には健康問題、経済・生活問題、家族問題、勤務の問題等が複雑に関係し、追い込まれた末の死といわれている。平成21年より保健所内に自殺対策プロジェクトを立ち上げ、保健対策課からも精神保健分野での視点から参加してきたが、平成27年度より保健対策課が事務局となり、事業実施している。

## ア 身近なゲートキーパー養成

自殺に関する普及啓発とともに自殺の危険のある人を早期に発見し、自殺予防のために連携協力して取り組む身近なゲートキーパーの養成研修を依頼教育時や、食品衛生、理美容講習会等の機会を活用し実施した。

**身近なゲートキーパー養成状況（表2-11）**

年度	回数（回）	参加者数（人）
26	8	1,049
<b>27</b>	<b>11</b>	<b>634</b>

## イ 八王子市自殺対策庁内連絡会の開催（事務局）

平成22年度から八王子市自殺対策庁内連絡会を開催している。

《平成27年度の取組み》

- ・八王子市自殺対策庁内連絡会（12月22日）
- ・職員向け自殺対策相談マニュアルの完成・周知
- ・八王子市自殺総合対策職員向け研修（2月23日 61名参加）

テーマ：「セルフネグレクトの理解と対応」

東邦大学 岸 恵美子教授（元自治体保健師）

- ・こころの体温計の活用
- ・強化月間に合わせた広報掲載、看板・懸垂幕の掲示
- ・若者向けパンフレットの製作（3,000枚）

- ・南多摩保健医療圏自殺対策推進者養成研修講演会（南多摩医療圏共催）

「高齢者のメンタルヘルス」（2月18日 38名参加）

**(10) 家族会支援**

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に会場提供や技術支援を行っている。

**家族会開催状況（表2-12）**

会の名称	わかくさ家族の会	さーくる南	ふれあいの会
対 象	八 王 子 市 の 精神障害者を持つ家族	南 大 沢 周 辺 の 精神障害者を持つ家族	八 王 子 市 の 認 知 症 高 齢 者 を 持 つ 家 族
保 健 所 が 支 援 し た 回 数	8	8	10

### 3 特殊疾病（難病）対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面などに種々の問題を抱え、長期の療養生活を余儀なくされている。

保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実に図りながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行なっている。

平成19年度から難病医療費助成の申請窓口が保健所に移り、早期の相談対応が可能になった。

#### （1） 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況（表3-1）

区 分	総 数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の 相 談	関係機関 連 絡	
26年度	1,614	312	190	471	161	480	
<b>27年度</b>	<b>1,502</b>	<b>295</b>	<b>87</b>	<b>422</b>	<b>48</b>	<b>650</b>	
内 訳	保 健 師	1,467	263	86	420	48	650
	理学療法士	32	32	—	—	—	—
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	栄 養 士	3	—	1	2	—	—
歯科衛生士	—	—	—	—	—	—	

#### （2） 難病講演会

難病講演会実施状況（表3-2）

開 催 日	内 容	参加人員
27年6月26日	「ALS の理解と療養生活について」 講師：東京都立神経病院 脳神経内科 医師 平井 健氏	46人
27年11月24日	「網膜色素変性症とともに～治療の理解と日常生活の工夫～」 講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 眼科教授 村上 晶氏	57人

#### （3） 患者会支援育成

喜楽会・さわやか会（パーキンソン病・神経難病患者交流会）、八王子にじの会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会）、あいの会八王子（網膜色素変性症の療養者・家族）、八王子を中心に活動している患者会3団体を支援した。

患者会開催状況（表3-3）

区 分	回 数	参加延人員
26年度	27	496
<b>27年度</b>	<b>25</b>	<b>335</b>

#### (4) 医療機器貸与及び訪問看護

気管切開、人工呼吸器装着の難病等の在宅療養者に東京都医療機器貸与事業により、吸引器・吸入器の貸与を行っている。またこの事業利用者に対し、訪問看護ステーションによるサービスだけでは不足する場合に訪問看護師を派遣した。

これらの制度を活用している事例では多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表3-4）

区分	貸与者数 (人)	機器貸与件数		訪問看護利用者数 (人)	訪問看護実績 (件)
		吸引器	吸入器		
26年度	27	10	26	3	16
<b>27年度</b>	<b>21</b>	<b>9</b>	<b>20</b>	<b>2</b>	<b>55</b>

#### (5) 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりをめざして「難病保健医療福祉調整会議」及びその下部組織として、難病実務者会議を設置している。

医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換などを通して地域の課題を検討する場としている。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表3-5）

開催日	会議名	内容
27年 5月 22日	訪問看護ステーション連絡会	「人工呼吸器の取り扱いについて」（計17名）
6月 8日	実務者会	「よりよい在宅療養をめざして～支援者の連携を通して考える～」（計56名）
10月 27日	実務者会	「在宅で有効な呼吸リハビリテーションについて」（計12名）
28年 2月 8日	難病保健医療福祉調整会議	八王子市在宅難病療養支援体制について（計14名）

#### (6) 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症難病療養者対策の一つとして要支援者に対する各種サービスの適切な提供をはじめ個々の病状や介護力に応じたきめの細かな支援を行うために、在宅療養支援計画策定・評価事業を実施した。

なお、評価委員会は保健所職員のほか、アドバイザーとして東京都難病医療相談員の協力を得て実施している。

**(7) 八王子市在宅人工呼吸器利用者災害時個別支援計画**

災害時の要援護者対策において、とりわけ緊急性・特殊性が高い在宅の人工呼吸器利用者に対し、災害時の被害を最小限にとどめることを目的に、「在宅人工呼吸器利用者災害時個別支援計画」を作成した。支援計画書は、家族と保健所等関係機関で情報共有をし、災害時に備えた。

平成27年度 25件

## 4 療育相談事業

自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請・受理を保健所で実施し、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行っている。

### （１）療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。

また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請の窓口であり、必要に応じて社会資源の紹介、関係機関調整などを実施している。

表４－１

区 分	家庭訪問 (延べ)	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
心身障害児（者）	79	5	95	33	215
（再掲） 重症心身障害児（者）	79	4	89	33	213
長期療養児	2	52	39	3	19

### （２）在宅重症心身障害児（者）訪問事業

表４－２

利用者数	新規（再掲）	個別ケア会議（回）
24	5	30

\* 西部訪問看護事業部（東京都からの事業委託）主催の在宅療育支援地域連携会議に出席した。

日 時：平成27年12月2日 場 所：八王子市保健所

テーマ：・東京都重症心身障害児（者）在宅療育支援事業の紹介

- ・医療側から見た八王子市の現状について
- ・八王子市の社会資源

### （３）障害児グループ支援

「ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）」に、企画の相談、代表者のサポートなどの支援を継続実施している。

表４－３

会 場	開催回数	参加人数(延数)	内 容
市民センター 他	年間7回	177名	遊びと発達等、勉強会、懇談会等

\*ひよこの会と共催で療育講演会を実施

日 時：平成27年10月5日 場 所：東浅川保健福祉センター

テーマ：「お子さんの成長に寄り添うために～発達のつまづきってなんだろう～」

講 師：立教女学院短期大学 幼児教育科 専任講師 田坂裕子氏

参加者：15名

## 5 環境公害保健

### (1) 光化学スモッグ被害対策

保健所は、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受けた場合は、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行っている。なお、平成27年度の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は0件であった。

### (2) 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月1回審査を行った。平成28年3月末現在の八王子市の認定者数は4,875人であった。

大気汚染医療費助成申請件数（表5-1）

区分	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	163	99	15	6	9	4	3	6	5	5	4	4	3
更新	1,902	135	179	232	153	169	168	155	175	137	98	177	124
合計	2,065	234	194	238	162	173	171	161	180	142	102	181	127

## 6 受託検診

障害者通所施設の通所者などを対象に、抽選制で、所内において簡易な健康診断を行った。

受託検診（障害者施設等）実施状況（表6-1）

区分	実施回数	総数	エックス線	尿	血液	心電図
26年度	24	670	654	639	629	125
<b>27年度</b>	<b>24</b>	<b>667</b>	<b>659</b>	<b>646</b>	<b>626</b>	<b>116</b>

## 7 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助などを目的として、地域の保健ニーズに基づき、感染症、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導及び研究活動などである。

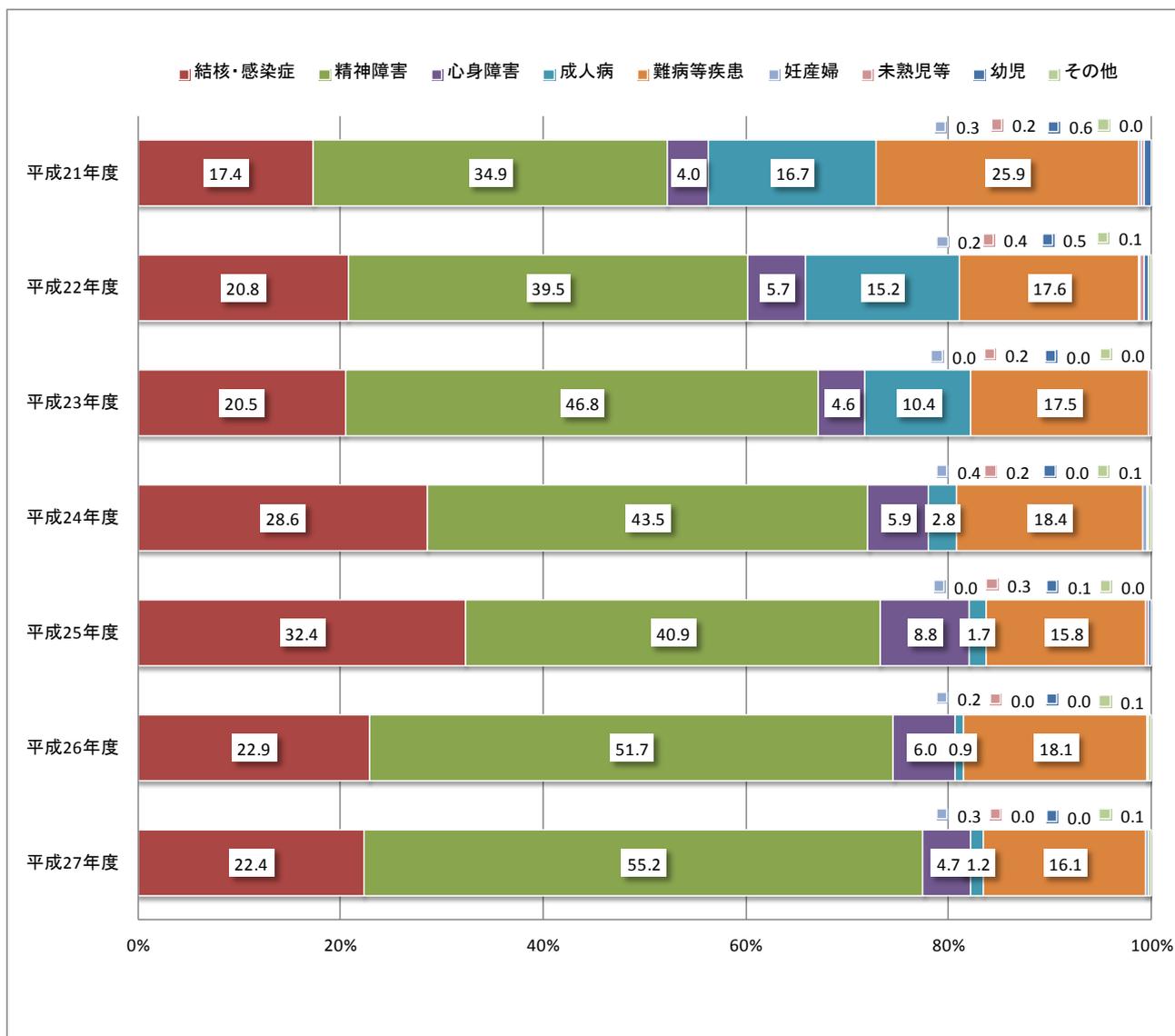
### (1) 専門的・広域的対人保健活動

#### ア 保健指導体制

地域を分割し、地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については関連機関と連携し、複数で対応している。

#### イ 地区活動状況

保健師の家庭訪問対象の推移（平成21年～27年度）（図7-1）



保健師活動状況（表7-1）

年 度	区 分	総 数	感染症対策 担			地域保健担当											
			感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神 保 健 福 祉	心 身 障 害	成 人	難 病	そ の 他 疾 患	妊 産 婦	乳 児	(再掲)			幼 児	そ の 他
													未 熟 児	新 生 児	一 般 乳 児		
26	家庭訪問	1,523	27	322	-	788	92	13	276	-	3	-	-	-	-	-	2
	所内相談	2,024	51	529	69	1,134	12	24	188	7	2	1	-	-	1	5	2
	電話相談	7,247	601	1,881	623	3,351	174	86	470	25	6	1	-	1	-	-	29
	文書その他の 相談	2,070	54	1,408	4	361	61	-	161	19	-	-	-	-	-	-	2
	関係機関 連絡	5,002	883	1,646	53	1,749	176	4	482	-	4	1	1	-	-	-	4
	合計	17,866	1,616	5,786	749	7,383	515	127	1,577	51	15	3	1	1	1	5	39
27	家庭訪問	1,662	55	317	-	917	79	21	263	4	5	-	-	-	-	-	1
	所内相談	2,156	55	573	21	1,310	5	10	86	90	-	-	-	-	-	-	6
	電話相談	7,816	747	2,126	507	3,729	95	26	420	123	10	-	-	-	-	2	31
	文書その他の 相談	2,567	207	1,941	3	314	33	-	48	21	-	-	-	-	-	-	-
	関係機関 連絡	5,675	803	1,664	4	2,300	215	4	650	33	-	-	-	-	-	-	2
	合計	19,876	1,867	6,621	535	8,570	427	61	1,467	271	15	-	-	-	-	2	40

\* 心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

学会報告状況（表7-2）

学 会 名	担当名	演 題
東京都福祉保健医療学会 (第11回)	地域保健担当	精神障害者が地域で安心して暮らせるために —精神科病院へのアンケート調査より（第二報）—
南多摩保健医療圏 地域保健医療フォーラム (第16回)	地域保健担当	精神障害者が地域で安心して暮らせるために —精神科病院へのアンケート調査より（第二報）—

(2) ヘルスプロモーションを推進するための活動

地域住民の健康の保持・増進を推進するため、体系的・総合的な支援の一環としてセルフヘルプグループの育成・活動の支援を行った。また、地域住民組織や関係団体等への支援を積極的に実施し、地域のネットワーク化に努めた。

地域住民・関係団体等への支援・連携状況（表7-3）

区分	関係機関・団体	回数	参加人数	支援内容
セルフヘルプグループ	精神 精神障害者地域家族会	14	580	精神障害者家族の交流や自主グループとしての会の運営等への支援
	難病 難病患者・家族交流会	27	496	セルフヘルプグループ交流会
	母子 ひよこの会	8	120	セルフヘルプグループ交流会
関係機関 関係支援	精神 八王子PSW研究会	11	…	連携会議
	障害者就労・生活支援センター	1	…	運営協議会
	八王子精神科看護師長会	4	…	精神科病院看護師長の連絡、連携、研修会
	グループホーム入居支援会議	9	…	入居支援
	地域移行・定着 個別支援会議	6	…	精神障害者の地域移行・定着に関する検討
	地域 高齢者あんしん相談センター関係会議	5	…	高齢者あんしん相談センターと高齢者福祉課、その他関係機関との情報交換等
子ども家庭支援センター関係会議	9	…	子ども家庭支援センター、関係機関との情報交換等	

## 8 医療費助成

小児慢性特定疾病医療費助成、療育医療及び自立支援医療（育成医療）については申請受理・認定審査・支払事務を、大気汚染医療については申請受理・認定審査事務を、妊娠高血圧症候群等医療及び未熟児養育医療については認定審査・支払事務を、指定難病等医療費助成の経由事務については申請受理・東京都への進達事務を行い、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。

高額な医療費を要する特定不妊治療について治療に要する費用の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図った。

表 8 - 1

疾 病 名		26 年度 申請受理 件数	27 年度 申請受理 件数
総 数		10,138	9,826
妊娠高血圧症候群等医療		7	1
未熟児養育医療		80	77
自立支援医療（育成医療）		54	54
療育医療		-	-
小児慢性特定疾病	悪性新生物	111	72
	慢性腎疾患	47	30
	慢性呼吸器疾患	25	16
	慢性心疾患	147	93
	内分泌疾患	157	99
	膠原病	24	16
	糖尿病	52	24
	先天性代謝異常	31	20
	血液疾患	38	20
	免疫疾患	-	2
	神経・筋疾患	65	41
	慢性消化器疾患	22	21
	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	-	2
	皮膚疾患群	-	3
小児慢性特定疾病 合計		719	459
指定難病等※	001 球脊髄性筋萎縮症	7	7
	002 筋萎縮性側索硬化症	47	43
	003 脊髄性筋萎縮症	7	5
	- パーキンソン病関連疾患	606	-
指 定	005 進行性核上性麻痺	2	46
	006 パーキンソン病	15	502
	007 大脳皮質基底核変性症	1	18

難 病 等	008	ハンチントン病	6	2	
	009	神経有棘赤血球症	0	1	
	010	シャルコー・マリー・トゥース病	0	6	
	011	重症筋無力症	109	106	
	-	多発性硬化症	103	-	
	013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	2	100	
	014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ／多巣性運動ニューロパチー	34	40	
	016	クロウ・深瀬症候群	1	1	
	017	多系統萎縮症	52	45	
	018	脊髄小脳変性症	158	155	
	019	ライソゾーム病	5	4	
	021	ミトコンドリア病	7	8	
	022	もやもや病	60	62	
	023	プリオン病	7	5	
	027	特発性基底核石灰化症	0	1	
	-	アミロイドーシス	6	-	
	028	全身性アミロイドーシス	1	6	
	030	遠位型ミオパチー	0	3	
	033	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	1	
	034	神経線維腫症	10	9	
	035	天疱瘡	28	23	
	036	表皮水疱症	0	2	
	037	膿疱性乾癬（汎発型）	9	10	
	038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	2	
	-	高安病	20	-	
	040	高安動脈炎	0	20	
	-	結節性動脈周囲炎	56	-	
	041	巨細胞性動脈炎	0	3	
	042	結節性多発動脈炎	0	16	
	043	顕微鏡的多発血管炎	1	40	
	-	ウェゲナー肉芽腫症	9	-	
	044	多発血管炎性肉芽腫症	0	9	
	045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	22	
	046	悪性関節リウマチ	35	29	
	-	ビュルガー病	17	-	
	指 定	047	バージャー病	2	18
		049	全身性エリテマトーデス	271	263
		050	皮膚筋炎／多発性筋炎	75	88

難 病 等	-	強皮症	146	-
	051	全身性強皮症	5	133
	052	混合性結合組織病	69	68
	053	シェーグレン症候群	57	63
	054	成人スチル病	28	26
	055	再発性多発軟骨炎	1	1
	056	ベーチェット病	100	94
	057	特発性拡張型心筋症	63	67
	058	肥大型心筋症	17	15
	059	拘束型心筋症	0	0
	060	再生不良性貧血	29	32
	061	自己免疫性溶血性貧血	0	7
	062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	2
	063	特発性血小板減少性紫斑病	108	99
	064	血栓性血小板減少性紫斑病	2	2
	065	原発性免疫不全症候群	9	11
	066	I g A腎症	1	23
	067	多発性嚢胞腎	33	38
	068	黄色靭帯骨化症	38	35
	069	後縦靭帯骨化症	249	175
	070	広範脊柱管狭窄症	37	37
	071	特発性大腿骨頭壊死症	54	53
	-	ADH分泌異常症	4	-
	072	下垂体性ADH分泌異常症	0	7
	-	プロラクチン(PRL)分泌異常症	48	-
	074	下垂体性PRL分泌亢進症	0	8
	075	クッシング病	1	2
	-	ゴナドトロピン分泌異常症	1	-
	-	先端巨大症	4	-
	077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	13
	-	下垂体機能低下症	9	-
	078	下垂体前葉機能低下症	0	32
	079	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	2
	080	甲状腺ホルモン不応症	0	0
081	先天性副腎皮質酵素欠乏症	0	3	
083	アジソン病	0	1	
指 定	084	サルコイドーシス	87	81
	085	特発性間質性肺炎	65	76
	086	肺動脈性肺高血圧症	7	7

難 病 等	087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0
	088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17	17
	089	リンパ脈管筋腫症	5	6
	090	網膜色素変性症	116	97
	092	特発性門脈圧亢進症	2	2
	093	原発性胆汁性肝硬変	103	101
	094	原発性硬化性胆管炎	15	7
	095	自己免疫性肝炎	59	66
	096	クローン病	180	161
	097	潰瘍性大腸炎	793	749
	098	好酸球性消化管疾患	0	1
	099	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	1
	111	先天性ミオパチー	3	1
	113	筋ジストロフィー	0	3
	161	家族性良性慢性天疱瘡	0	3
	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	0	3
	163	特発性後天性全身性無汗症	0	1
	167	マルファン症候群	0	5
	193	プラダー・ウィリ症候群	0	3
	212	三尖弁閉鎖症	0	1
	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	1
	218	アルポート症候群	0	1
	222	一次性ネフローゼ症候群	0	6
	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	4
	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	1
	277	リンパ管腫症／ゴーハム病	0	1
	289	クローンカイト・カナダ症候群	0	1
	300	I g G 4 関連疾患	0	6
	302	レーベル遺伝性視神経症	0	1
	306	好酸球性副鼻腔炎	0	5
	ジ	進行性筋ジストロフィー	13	10
	ソ	ウィルソン病	2	5
	ニ	遺伝性（本態性）ニューロパチー	7	0
ネ	ネフローゼ症候群	91	76	
ミ	ミオトニー症候群	20	17	
遺	遺伝性QT延長症候群	1	1	
指 定 難	気	びまん性汎細気管支炎	9	8
	空	脊髄空洞症	3	3
	髄	骨髄線維症	3	3

病 等	石	肝内結石症	1	1
	先	先天性ミオパチー	0	3
	椎	強直性脊椎炎	24	22
	母	母斑症	7	5
	脈	網膜脈絡膜萎縮症	4	3
	ア	アレルギー性肉芽腫性血管炎	20	0
	ス	スモン	4	3
	腓	重症急性膵炎(更新のみ)	9	2
	劇	劇症肝炎	5	3
指定難病等 合計			4,562	4,354
人工透析を必要とする腎不全			1,210	1,253
先天性血液凝固因子欠乏症等			29	35
ウィルス肝炎	B型・C型ウイルス肝炎治療		331	533
大気汚染医療	気管支ぜん息		2,632	2,065
特定不妊	助成人数(夫婦)		305	593
治療費助成	助成件数		514	995

※平成27年1月1日付けで難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、法に基づく医療費助成対象の指定難病は、旧制度の56疾病から平成27年1月に110疾病、同年7月には306疾病に拡充した。  
難病医療費助成の対象となる指定難病等とは、東京都独自の制度に基づく疾病を含む。